

出展概要

2018年9月14日

ライブエンターテインメント業界に向けたパナソニックならではの end-to-end ソリューション

IBC2018(International Broadcasting Convention)へ出展

パナソニック株式会社は、オランダ・アムステルダムにて現地時間 9 月 14 日(金)より開催される放送機器展「IBC2018(International Broadcasting Convention)」に出展します。「ライブエンターテインメント業界に向けたパナソニックならではの end-to-end ソリューション」をテーマに、撮影、伝送、そして映像演出までのトータルシステムをご提案します。

展示ブースは、「ライブエンターテインメントスタジオ」、「テクノロジーコーナー」、「制作コーナー」、「ENG コーナー」の 4 つのゾーンを展開します。「ライブエンターテインメントスタジオ」エリアでは、4K/HD スタジオカメラシステムをはじめ、高品位なライブ映像制作が可能な「VARICAM LT Live 対応」や「AU-EVA1 for Live」、また NDI 規格に対応したリモートカメラシステムなど、スムーズなライブプロダクションに貢献する様々なソリューションをご紹介します。新製品には、72 入力^{※1}／42 出力^{※2}の豊富な入出力と、4K フォーマット^{※3}に対応した 4ME ライブスイッチャー AV-HS7300 が登場。パナソニックが培ってきた技術力と実績により、ニュースやスポーツ中継などの生きた番組づくりに貢献します。また、リモートカメララインナップは、新製品の 4K/60p 出力^{※4}が可能な 4K インテグレートッドカメラ AW-UE150W/K と、その 4K 撮影を高い操作性でサポートするリモートカメラコントローラー AW-RP150 で、回転台一体型カメラの活用シーンを大幅に広げるソリューションをご提案します。

「ENG コーナー」では、クラウドサーバーを介して撮影素材やメタデータなどを取材先から放送局へ伝送可能なパナソニック独自のサービス「P2 Cast」と組み合わせ、新たな ENG ワークフローをご覧ください。このほか、「テクノロジーコーナー」では 8K ROI マルチカメラシステムや MoIP による次世代 IP ネットワークソリューションを参考出品としてご紹介し、「制作コーナー」では映画・ドラマ・ドキュメンタリー番組などで活躍する VARICAM シリーズ、5.7K コンパクトシネマカメラ AU-EVA1 を展示。4K/8K 時代の豊かな映像表現をご紹介します。

スポーツや音楽イベントのライブ感、ニュース放送の即時性、そして映像制作の可能性を広げる先進技術など、様々なライブエンターテインメントシーンで活躍するパナソニックの提案を、IBC2018 でご覧いただくことができます。

※1: SDI 入力増設用リアボード(AV-HS70M1/別売)と SDI 入力増設用フロントボード(AV-HS70M3/別売)が必要です。 ※2: SDI 出力増設用フロントボード(AV-HS70M2/別売)が必要です。 ※3: ME 拡張用映像処理ボード(AV-HS70M4/別売)が必要です。 ※4: 実際の記録は UHD(3840×2160)59.94p。

■主な出展システム

<ライブエンターテインメントスタジオ>

- ・4K/HD スタジオハンディカメラ
- ・VARICAM LT Live 対応 + DTS システム
- ・AU-EVA1 for Live
- ・ライブスイッチャー AV-HS7300
- ・4K マルチパスカメラ + ロボティクスソリューション
- ・4K/HD インテグレートッドカメラ
- ・NDI | HX 対応システム
- ・360 度ライブカメラ

<テクノロジーコーナー>

- ・8K ROI マルチカメラシステム
- ・MoIPソリューション

<制作コーナー>

- ・VARICAM シリーズ (VARICAM 35、VARICAM LT)
- ・コンパクトシネマカメラ AU-EVA1

<ENG コーナー>

- ・P2 Cast ワークフロー
- ・P2 メモリーカード・カメラレコーダー

【お問い合わせ先】

パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社 メディアエンターテインメント事業部
 マーケティングセンター 商品マーケティング部 マーケットコミュニケーション課
 TEL : 06-6905-4640 (直通)